

千葉県経済のトピックス

～有業者数の増加について～

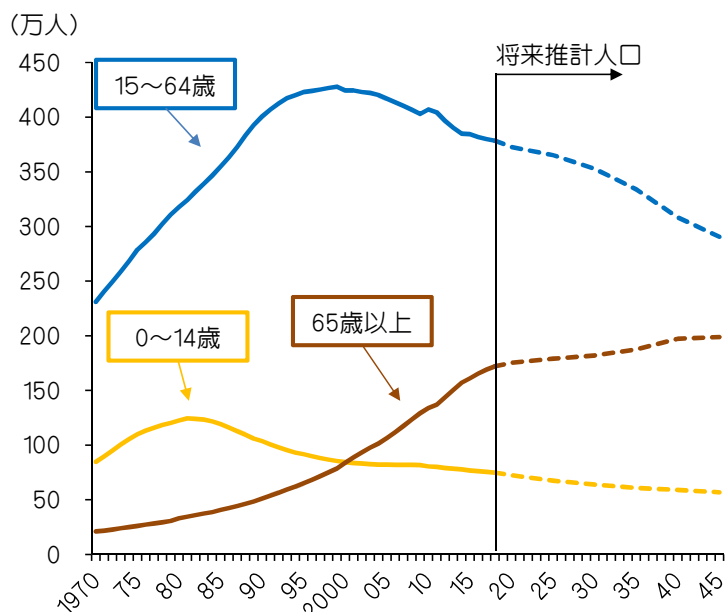
令和元年10月1日

千葉県商工労働部経済政策課

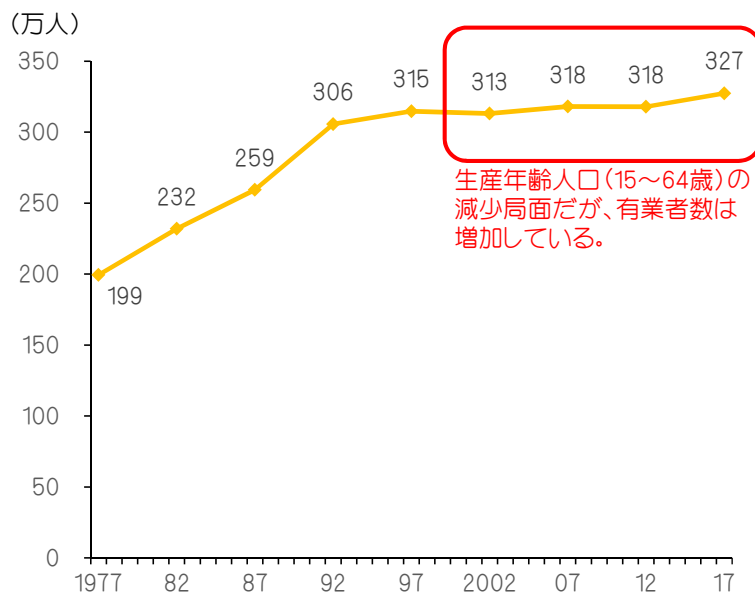
生産年齢人口は減少しているが、有業者数は増加している

- 本県の生産年齢人口(15～64歳)は、1999年をピークに、減少に転じている。
- 一方で、有業者数は2002年から2017年までに、14万人増加した。

年齢階層別の人口(千葉県)



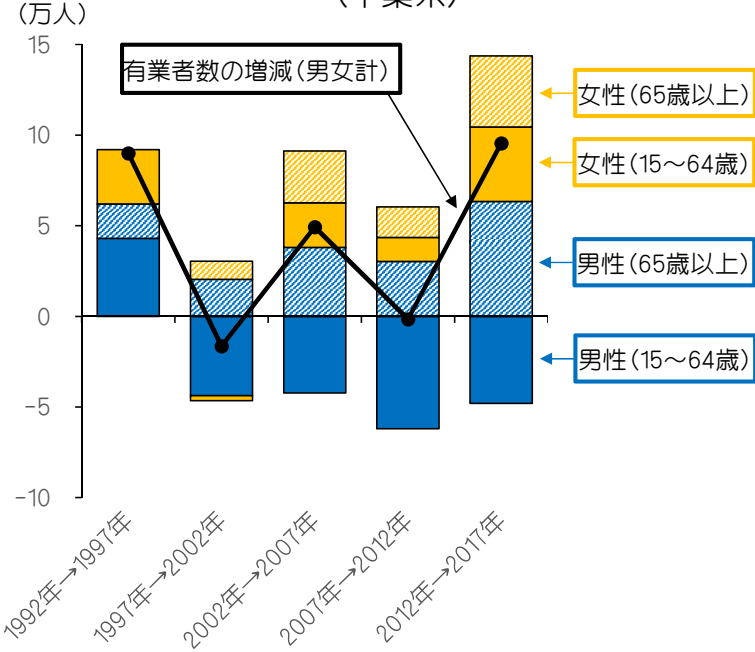
有業者数(千葉県)



有業者数の増加は、女性や高齢者の労働参加が拡大したため

- 有業者数の増加は、女性や高齢者の労働参加拡大に支えられている。
- 2002年以降の累計でみると、男性(15~64歳)が約15万人減少した一方で、女性(15~64歳)は約8万人増加した。また、男性(65歳以上)は約13万人増加、女性(65歳以上)は約8万人増加した。

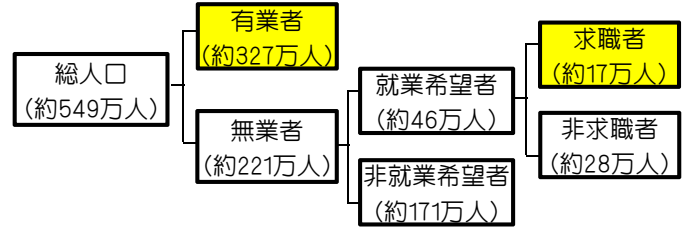
有業者数の性別・年齢階層別寄与数
(千葉県)



有業者とは

有業者とは、「ふだん収入を得ることを目的として仕事をしており、調査日以降もしていく者(休業者及び無給の家族従業者含む)」と定義される。国勢調査や労働力調査が月末1週間の就業・不就業の「事実」を把握するのに対し、就業構造基本調査はふだんの活動状態に関する「回答者の主観的判断」を把握する。学生アルバイトや、主婦のパートも、有業者に含まれる。

千葉県の就業構造(2017年) ※15歳以上



※1 本稿では、労働力人口=有業者+求職者と定義して、以下の分析を進める。なお、労働力調査等の概念に準拠した。

※2 数値は、分類不能の者等の影響により、総数と内訳の合計は一致しない。

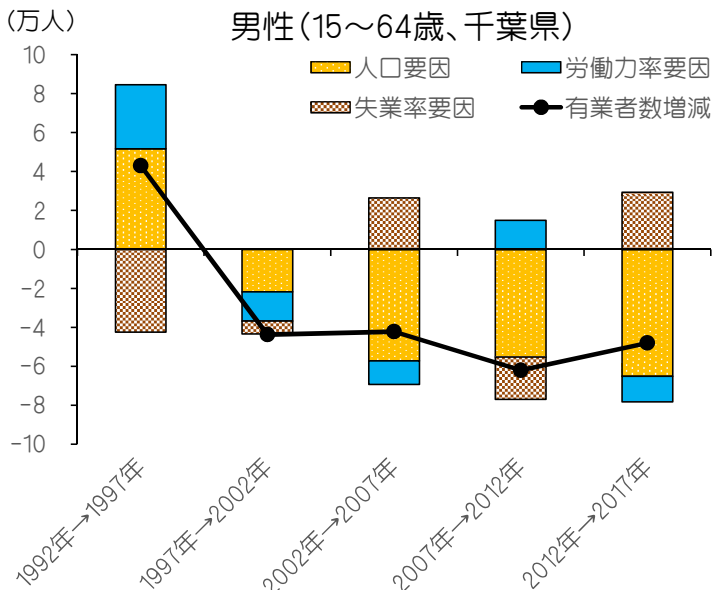
(資料)総務省「就業構造基本調査」

2

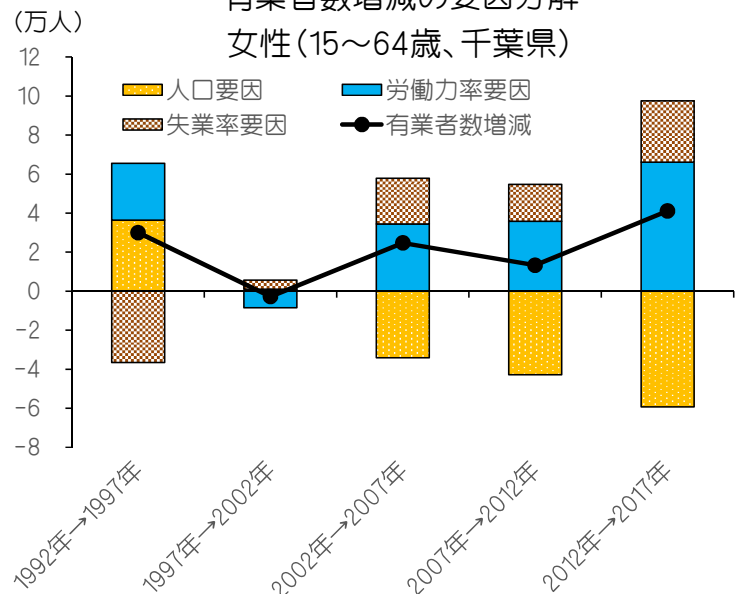
女性(15~64歳)は、人口減のマイナス寄与を、労働力率向上のプラス寄与が上回る

- 15~64歳の有業者数増減の要因分解をすると、男女ともに人口減少(人口要因)がマイナスに寄与した。
- 一方で、女性については、人口に占める労働力(=有業者+求職者)率が上昇したことが、有業者数の増加の主因となった。
- また、失業(労働力に占める求職者数)率が改善していることも、男女ともにプラスに寄与している。

有業者数増減の要因分解
男性(15~64歳、千葉県)



有業者数増減の要因分解
女性(15~64歳、千葉県)



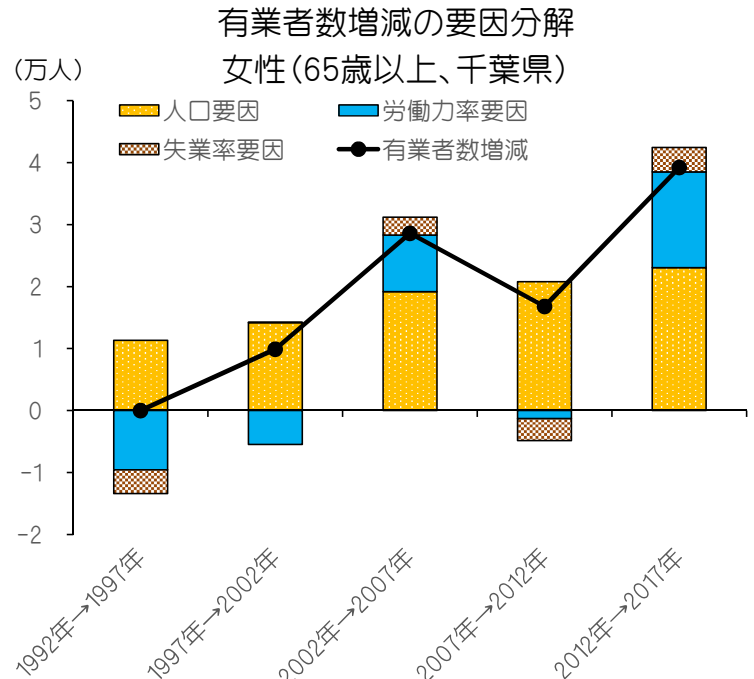
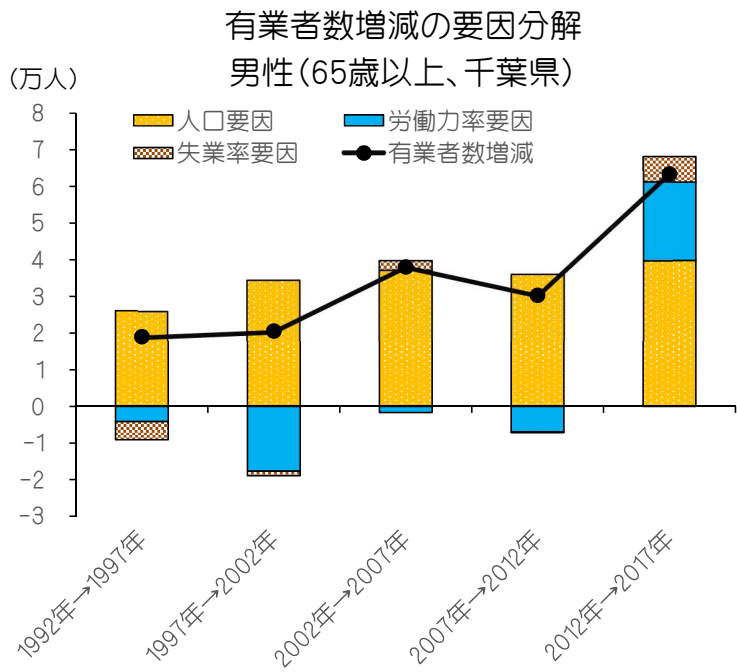
※ 有業者増減=人口要因+労働力率要因+失業率要因。①人口、②労働力率、③失業率を変数とし、「人口要因」は1期前の①人口と、当期の②労働力率・③失業率をもとに有業者数を算出し、現実の有業者数との差分を「人口要因」とした。「労働力率要因」「失業率要因」も同様に算出。なお、「労働力=有業者+求職者」と定義し、労働力率=労働力÷人口。また、失業率=求職者÷労働力と定義している。「有業者数増減」と、各要因合計は誤差が生じる(按分調整をしていない)。

(資料)総務省「就業構造基本調査」

3

高齢者(65歳以上)は、人口増がプラス寄与

- 65歳以上の有業者数増減の要因分解をすると、男女ともに人口増加(人口要因)がプラスに寄与した。
- 2012年以降は、男女ともに、人口に占める労働力(=有業者+求職者)率が上昇したことも、有業者数の増加を加速させている。



※ 有業者増減=人口要因+労働力率要因+失業率要因。①人口、②労働力率、③失業率を変数とし、「人口要因」は1期前の①人口と、当期の②労働力率・③失業率をもとに有業者数を算出し、現実の有業者数との差分を「人口要因」とした。「労働力率要因」「失業率要因」も同様に算出。なお、「労働力=有業者+求職者」と定義し、労働力率=労働力÷人口。また、失業率=求職者÷労働力と定義している。「有業者数増減」と、各要因合計は誤差が生じる(按分調整をしていない)。

(資料)総務省「就業構造基本調査」

高齢者のうち、65歳~74歳は今後は人口減少

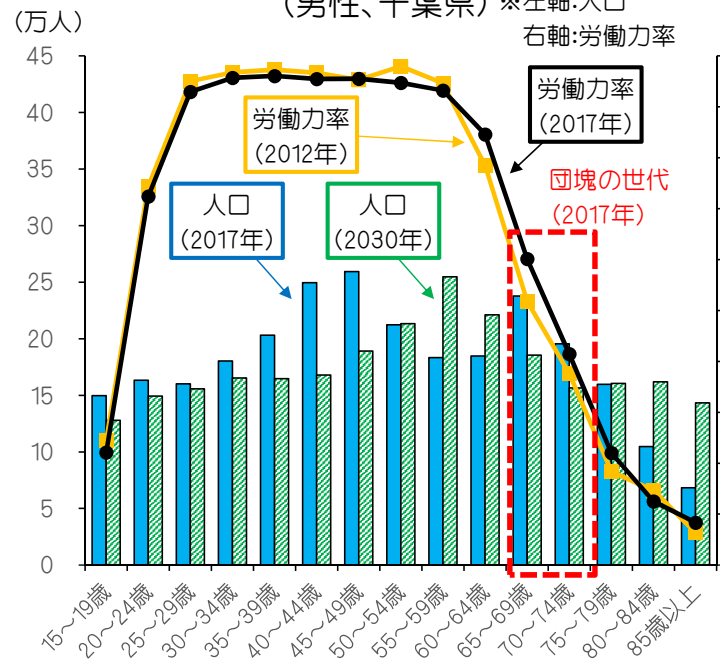
- 女性(15~64歳)や高齢者(65歳以上)は、広く労働力率が上昇している。
- 高齢者人口のうち、労働力率が比較的高い65歳~74歳は、2030年に向けて減少する(※)ため、これまでは人口増を主因とした高齢者の有業者数増加が、転機を迎える。引き続き、有業者数を維持増加させるためには、労働力率の向上を実現する、高齢者の就労支援がより一層重要になる。

※団塊の世代(2017年時点で68~70歳)が労働市場を引退する影響が顕在化する。

15歳以上人口と労働力率

(男性、千葉県)

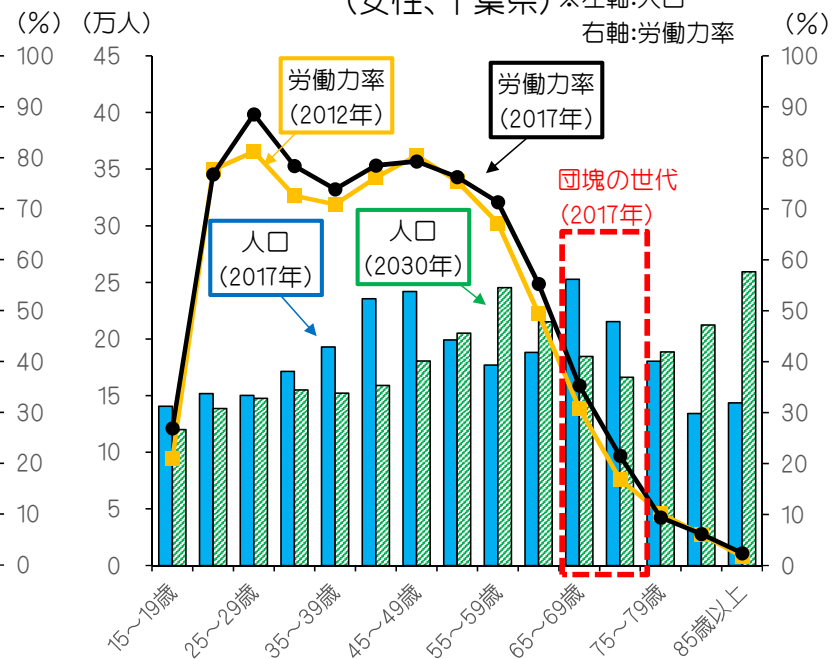
※左軸:人口
右軸:労働力率



15歳以上人口と労働力率

(女性、千葉県)

※左軸:人口
右軸:労働力率



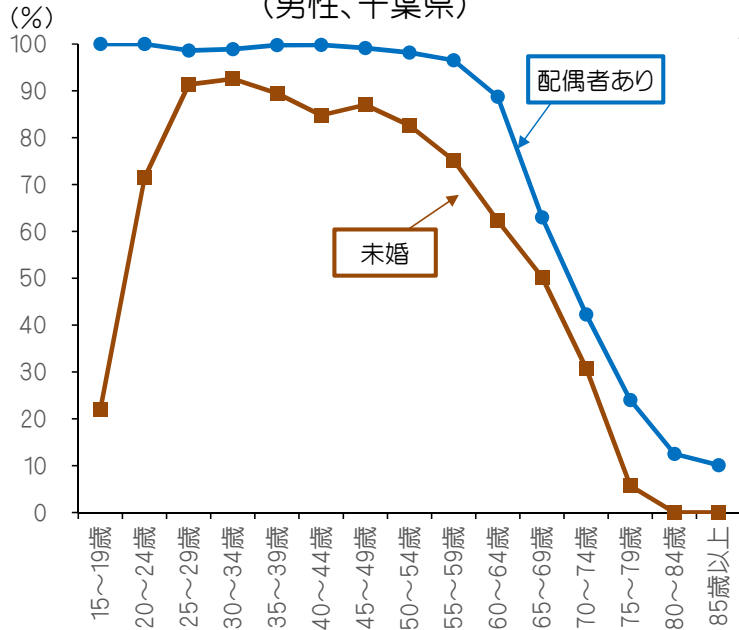
(資料)総務省「就業構造基本調査」

※「労働力=有業者+求職者」と定義し、労働力率=労働力÷人口。

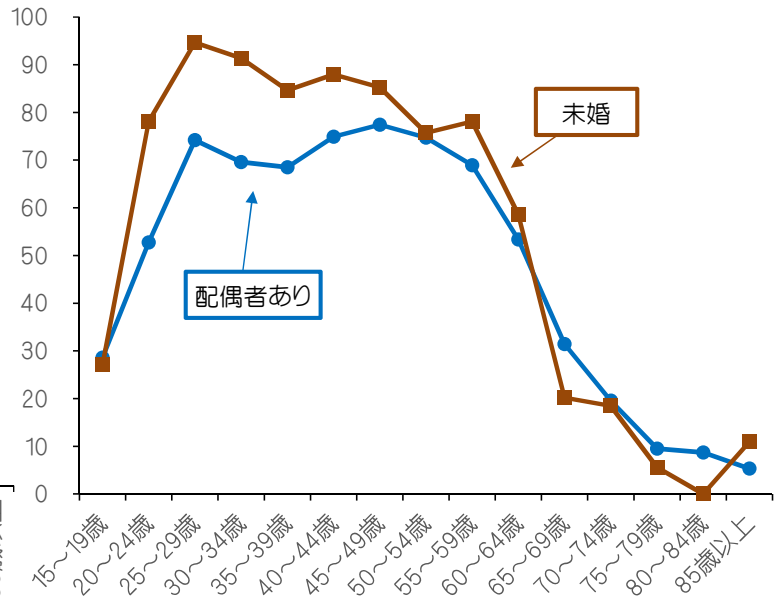
女性は、潜在的な就業ニーズが存在

- 女性の労働力率について、配偶関係別に確認する。
- 未婚の女性は20代後半をピークにその後、労働力率が低下する。一方、有配偶の女性は年齢が高くなるにつれて、労働力率が上昇する。50代以降は未婚・有配偶による労働力率の違いが顕著でなくなる。
- 特に配偶者ありの女性は、潜在的な就業ニーズがあると考えられるため、引き続き、有業者数を維持増加させるためには、労働力率の向上を実現する、女性の就労支援がより一層重要になる。

配偶関係別の労働力率
(男性、千葉県)



配偶関係別の労働力率
(女性、千葉県)



(資料)総務省「就業構造基本調査」

※「労働力=有業者+求職者」と定義し、労働力率=労働力÷人口。